

に外ならず。

翻りて漢史に就きて此等の事實に對應する記載を求むるに、默啜の殺されたるは開元四年にして、殊に舊唐書本
卷には同年六月癸酉と明記せり、而して默棘連は此の際三十三歳にして其の位を襲ひたるものなれば、默棘連の三
十三歳が開元四年に相當することは疑無し、*Marquart* 氏は突厥の歳首は支那のよりも殆んど三ヶ月程前に在りし
ものならんと考へたれど、氏が此の論述の根據として提示したる事實は、余輩の認むる能はざる所にして、却りて
此等の事實はその同時に在りしを認めしむべきものなれば、若し突厥にても生壽を數ふるに當り、支那と同じく曆
年の更改を基としたるものなりとすれば、漢史に就きて可汗の三十三歳の時に於る事件を求むるに當りては、その
開元四年の記事中に於て之を搜索すべきなり、然れども突厥にて果して此の方法に據りしか否かは確證の存するも
のなきが如きを以て、今は暫く歐洲諸學者の普通に考ふるが如く、生年月を基としたるものと見、開元三年の後半
及び同五年の前半に亘れる記事につきても考慮する所あるべし、蓋し開元四年六月には可汗が三十三歳なりしこと
明らかかなれば、此の三十三歳なる年は開元三年六月以後と、開元五年六月以前との間の一年間に始終したるものな
るべきを以てなり。

さて通典卷百六十八によれば

〔開元三年〕秋默啜與九姓首領阿²⁰布思等、戰于磧北、九姓大潰、人畜多死、〔阿〕布思率衆來降、四年默啜又北討
九姓拔曳固、戰于獨樂河、拔曳固大敗、默啜負勝輕歸、而不設備、遇拔曳固逆率通鑑作逆卒、舊唐書作逆卒、頡質略於柳林
中突出、擊默啜斬之、仍與入蕃使郝靈佺舊唐書作筌傳默啜首、至京師、骨咄祿之子闕特勒鳩合舊部、殺默啜子小